

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>大学での学びの集大成として、企業経営、異文化、社会比較など、最も興味のあるテーマを設定し、研究論文としてまとめる事が課題です。①自ら課題を見つけ出すスキル②物事を把握し考察するスキル③調べた事や考えたことを文章としてまとめ上げるスキルを伸ばしていきます。参加者それぞれの興味、関心、今後の進路など、それぞれの観点からテーマを設定し、卒業論文を完成させていきます。 ※授業は対面・オンライン(meet等)どちらでも選択できる形で実施しますが、コロナ禍が悪化した際には速やかにビデオ会議システム(meet等)を利用したオンライン講義のみに切り替えます。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	学外活動・講義・演習の方法をとります。グループワークや、必要に応じてディスカッションも交えながら進めていきます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス 講義のねらいと概要	講義の概要説明	<input type="checkbox"/>
第2回	卒業研究についての説明	卒業研究の説明	<input type="checkbox"/>
第3回	卒業研究 課題設定(1)	卒業研究のためのテーマを決める(1) 複数キーワード設定	<input type="checkbox"/>
第4回	卒業研究 課題設定(2)	卒業研究のためのテーマを決める(2) 複数キーワード設定	<input type="checkbox"/>
第5回	卒業研究 課題設定(3)	卒業研究のためのテーマを決める(3) 複数キーワード設定	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業研究 課題設定(4)	卒業研究のためのテーマを決める(4) キーワード設定	<input type="checkbox"/>
第7回	卒業研究 課題設定(5)	卒業研究のためのテーマを決める(5) キーワード設定	<input type="checkbox"/>
第8回	中間まとめ	各テーマのまとめ	<input type="checkbox"/>
第9回	資料収集(1)	テーマに関係する資料を探す(1)	<input type="checkbox"/>
第10回	資料収集(2)	テーマに関係する資料を探す(2)	<input type="checkbox"/>
第11回	問題意識の明確化(1)	テーマの仮決め(1)	<input type="checkbox"/>
第12回	問題意識の明確化(2)	テーマの仮決め(2)	<input type="checkbox"/>
第13回	問題意識の明確化(3)	テーマの仮決め(3)	<input type="checkbox"/>
第14回	問題意識の明確化(4)	テーマの仮決め(4)	<input type="checkbox"/>
第15回	後期のまとめ	まとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)	
<p>【事前学習】次回授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと。自分の設定するテーマについて、必要となる資料を探し、討論のための資料などを作成する(2時間程度)。【事後学習】ゼミで討論したことについて、各自それぞれ見直しをすること。講義で学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください(2時間程度)。</p>	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
個人面談、集団での討論などを通じて、必要に応じてアドバイスを与える。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域の組織にできる事と、地域の組織にしかできない事を把握し、自身のキャリアがどちらの組織において、社会貢献できるかを考えることができる。自身のこれまでの経験が、目指したい組織でどのように生かせるか考え、行動することができる。
-----	-----------------	--

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<p>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</p> <p>授業内の積極的提言・課題レポート・発表の3点で評価します。</p>				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ、ゼミの中でプリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		